

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 社会福祉法人 富士会 )  
 事業所名 ( ヴィラトピア知立 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
移乗サポートロボット		ハグ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成30年10月 2日	1	平成30年10月 2日	年 月 日から	年 月 日まで
<p><b>【介護ロボットの使用状況】</b></p> <p>トイレ介助用に特化し、この移乗サポートロボットをトイレに設置、2名での移乗介助が必要な3名のご利用者をピックアップして移動介助を行ってきたが、退所、状況悪化等により現在は1名のご利用者に対し使用している。</p>				
<p><b>【介護ロボットの導入効果】</b></p> <p>この機器について、事故の危険性が全く無いわけではないため、ご利用者がこの機器になれて頂くことと、職員が操作になれる事を重点的に行い、現在の1名の方には慣れて頂けている。今後、職員2名での介助が必要とされる方が入所されて来られれば更に頻度がアップしていくと思われる。</p> <p>製造業者との連絡もし合い、不都合な点を伝え、改善協力を依頼、改善頂けた部分については調子よく順調に使用できている。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人なごや福祉施設協会)  
事業所名 (特別養護老人ホーム なごやかハウス滝ノ水)  
サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
装着型介護ロボット (移乗・排泄・入浴)		HAL 介護支援用(腰タイプ) CB-2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 11 月 1 日	4 台	平成 30 年 11 月 1 日	平成 30 年 11 月 1 日から 令和 5 年 10 月 31 日まで
<p><b>【介護ロボットの使用状況】</b></p> <p>○主に介護職員が単身で介助を行うことが多い夜勤帯に使用している。介護職員が中腰姿勢になることが多いオムツ交換や体位変換、移乗時での介助に使用することで介護職員の腰部への負担を減少して腰痛予防へと繋げている。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入効果】</b></p> <p>○夜勤勤務を終了した介護職員の腰部疲労感が軽減している。昨年度、腰痛による体調不良を起こした介護職員は1名であった(居住地の都合で年度途中で異動した職員。元々腰痛がありHALに慣れるまでの時間で腰痛を悪化させる可能性が高かったためHALの使用は見合わせていた職員)が、その中で腰痛を訴える職員はいなかった。</p> <p>○ご利用者に職員が装着したHAL本体のフレームをつかんでいただくことで、より体を密着することができ、簡単・安全に移乗介助を行うことができる</p> <p>○介護福祉士や社会福祉士、看護師等の施設実習や理学療法士の介護体験実習受け入れ時に実際に実習生にHALを使用させることで、職員の安全衛生やICT・介護ロボットなど最先端技術を積極的に取り入れている法人であることをPRすることができる。</p> <p>○令和元年7月全国老人福祉施設協議会の東海北陸ブロック研究大会にて、当施設のHAL導入の取り組みを発表した。発表後には参加者から多くの質問をいただき、介護施設職員のHALに対する関心が高いことが印象的であった。また、10月には同協議会の全国研究会議にてHALの使用を含む当施設の自立支援介護の取り組みを発表し、奨励賞を受賞した。</p> <p>○職員の動きや発汗により、体に貼った電極パットが剥がれるエラーが出やすいためベルト式の電極パットを導入している。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名 （社会福祉法人カリヨン福祉会 ）

事業所名 （特別養護老人ホームカリヨンの郷）

サービス種別 （介護老人福祉施設 ）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
移乗介護		離床アシストロボット リショナーネ Plus		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 30 年 10 月 26 日	1 台	平成 30 年 10 月 26 日	年 月 日から	年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】				
<p>体格が大きいため、ベッドから車いすへの移乗時に職員が 2 名以上で抱え上げる必要があった利用者に対して使用した。</p>				
【介護ロボットの導入効果】				
<p>当該ベッド利用者について、介護職員が 1 人介助でも抱え上げずにベッドから車いすに移乗させることができ、腰への負担が軽減された。特に夜勤時間帯など職員数が少ない時間帯の離床負担軽減につながった。</p> <p>※夜勤を行う職員 10 名に対する聞き取り結果は下記のとおり。</p> <p>①負担軽減につながった 9 名</p> <p>②変わらない 1 名</p> <p>③負担が重くなった 0 名</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 医療法人 鉄友会 )  
 事業所名 ( 介護老人保健施設さくら大樹 )  
 サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		介助用 マッスルスーツ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月25日	3	平成30年9月12日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 【介護ロボットの使用状況】

- ・各フロアで気軽に職員が使用できるようにオープンスペースに保管し、主に排泄介助時やおむつ交換時に使用
- ・新人職員に積極的活用してもらえよう、新人研修にて活用
- ・外部で実施する介護フェアに持参し、参加者（一般市民）に対して体験会を実施している

## 【介護ロボットの導入効果】

- ・職員より体重の重い重介護者の移乗・トイレ介助を実施し前のめり姿勢や中腰の姿勢に対し、ロボットが腰の動きをアシストし、腰部にかかる負担が軽減されていることを実感
- ・就職フェアや介護フェアなどで職員の腰痛予防対策として介護ロボット使用していることを紹介。介護ロボットを活用し職員の安全衛生面の重視と最先端の取り組みをおこなっていることをアピールしている

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 医療法人 鉄友会 )  
 事業所名 ( 介護老人保健施設さくらの里 )  
 サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		介助用 マッスルスーツ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 9 月 25 日	3	平成 30 年 9 月 12 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 【介護ロボットの使用状況】

- ・各フロアで気軽に職員が使用できるようにオープンスペースに保管し、主に排泄介助時やおむつ交換時に使用
- ・新人職員に積極的活用してもらえよう、新人研修にて活用
- ・外部で実施する介護フェアに持参し、参加者（一般市民）に対して体験会を実施している

## 【介護ロボットの導入効果】

- ・職員より体重の重い重介護者の移乗・トイレ介助を実施し前のめり姿勢や中腰の姿勢に対し、ロボットが腰の動きをアシストし、腰部にかかる負担が軽減されていることを実感
- ・就職フェアや介護フェアなどで職員の腰痛予防対策として介護ロボット使用していることを紹介。介護ロボットを活用し職員の安全衛生面の重視と最先端の取り組みをおこなっていることをアピールしている

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( さくら福祉事業会 )

事業所名 (特別養護老人ホームさくらレジデンス)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		介助用 マッスルスーツ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 9 月 25 日	1	平成 30 年 9 月 12 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 【介護ロボットの使用状況】

- ・各フロアで気軽に職員が使用できるようにオープンスペースに保管し、主に排泄介助時やおむつ交換時に使用
- ・新人職員に積極的活用してもらえよう、新人研修にて活用
- ・外部で実施する介護フェアに持参し、参加者（一般市民）に対して体験会を実施している

## 【介護ロボットの導入効果】

- ・職員より体重の重い重介護者の移乗・トイレ介助を実施し前のめり姿勢や中腰の姿勢に対し、ロボットが腰の動きをアシストし、腰部にかかる負担が軽減されていることを実感
- ・就職フェアや介護フェアなどで職員の腰痛予防対策として介護ロボット使用していることを紹介。介護ロボットを活用し職員の安全衛生面の重視と最先端の取り組みをおこなっていることをアピールしている

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会)  
 事業所名 (特別養護老人ホーム春緑苑)  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗支援ロボット		離床アシストロボット リショナー Plus (型番：XPN-S10601) パナソニックエイジフリー株式会社	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月29日	1台	平成30年10月29日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 【介護ロボットの使用状況】

- ・日中、夜間を通して毎日使用。
- ・対象者は虚弱者や急性期疾患、身体的な理由における移乗困難者などに設定し優先度を考慮しながら適宜最優先とされる方に利用している。
- ・居室で寝たきりになってしまう状態の方でも、体調面に配慮しながら様々な活動への参加を促進し楽しみある生活を送って頂く為に使用。
- ・入居者様と職員の移乗時における身体的負担の軽減を行う事を目的として活用。
- ・安全に活用する為に、操作マニュアル(操作手順と使用上の注意点等記載)を作成している。

## 【介護ロボットの導入効果】

- ・虚弱等の安静を要す方の移乗時の身体的負担の軽減ができた。
- ・対象者が居室で寝たきりとならず、リビングで時間を過ごす事やレクリエーション等に参加する機会を持つ事ができた。
- ・職員の身体的な負担の軽減ができた。また、移乗に職員を2人要していた方に対して一人で介助(リショナー Plus の操作が)できるようになったのでマンパワー不足の軽減にもつながった。二人で介助する為の職員を要請する手間や時間や気兼ねがなくなった。
- ・移乗時に皮下出血や剥離等の事故リスクが軽減で来ている。
- ・疾病などで医師から安静指示が出た場合でも対応ができています。
- ・リショナー Plus の活用を通して、該当製品以外の介護ロボットの活用の意識が高まった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。